

# 一 般 質 問 発 言 通 告 表

平成24年12月市議会定例会

順	質問者	質問事項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	1 番 井澤 秋雄	1 高校再編を想定した街なかの「新たな拠点づくり」構想について	1 楯岡高校敷地を含む周辺一帯の都市像の考え方 2 都市計画路線「村山駅東沢線」の整備を含めた街づくり 3 「新拠点づくり有識者懇談会」の設置の考え方(提案)	市 長 教育委員長 教育長 関係課長
		2 通学路の安全対策方針について	1 今年5月調査による危険箇所の検証結果 2 安全対策方針	
		3 開かれた教育行政について	1 現状と推進方法 2 教育委員会会議の公開体制とその問題点 3 ホームページの活用	
2	4 番 布川 淳一	1 第二次村山集中改革プランの中で民間委託の推進が謳われているが今後の方向性と具体的な実効性を問う	1 村山市の職員体制について質問をする (1) 行財政改革が、集中改革プランを通じて着々と進められ一定の成果をあげているが、反面、現場を抱える職場において、人材の確保と雇用の問題が顕在化している 今後どのような施策を以って市民サービスの低下を防ぎながら、優秀な人材を活用していくかが問われている また、不安定な雇用に悩む臨時職員やパート職員の立場に立った雇用形態に改革していくのか その将来像を問う 具体的な質問 ① 市職員のうち、正職員と日々雇用職員の割合(総括的) ② 児童センター、保育園などに従事する者 ③ 学校給食に従事する者 ④ 学校用務および業務に従事する者 ⑤ 図書館業務に従事する者 ⑥ 公園業務に従事する者 ⑦ その他、一般事務に従事する者 上に列記した業務に従事する臨時やパートの方々の実態および今後の在り方 特に指定管理や業務委託を採用して身分の安定を図りながら、人材の確保をどう行っていくのか基本的な考え方と、今後の各セクションの対応を質問する	市 長 教育長 関係課長

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
3	2番 長谷川 元	1 防災無線について	<p>1 防災無線の改修計画が進んでいると思うが、現在の進捗状況は</p> <p>(1) 防災対策としてコミュニティFMを立ち上げている自治体がある 近隣市町村と協力して防災の観点からFMの立ち上げをしてはどうか</p> <p>(2) FMはあくまで防災無線の補完的役割だが、細かな情報発信には最適である 聞こえにくい防災無線にどれほど予算を割くか そして設置場所についても議論をしていく必要があると考える</p>	市長
		2 都市計画について	<p>1 現在の都市計画区域の今後の面整備の計画は</p> <p>(1) 駅西開発地域の現在の状況は</p> <p>(2) 為政者が変わる度に村山市の都市計画は棚上げになってきたのではないかと 持続性のある都市計画を進めるにあたって現在の行政に必要なことはどのようなことだと考えるのか</p> <p>2 県ほ場跡地へのメガソーラー設置について</p> <p>(1) 県有地の利用について市が今まで提案をしたことはあるのか</p> <p>(2) 徳内シーボルトラインの沿線をもっと利用価値の高い施設として利活用するよう県へ提案すべきと考えるがどうか</p>	
4	9番 中里 芳之	1 社会保障制度改革推進法について	<p>1 社会保障制度改革推進法は、社会保障・社会福祉に対する国の義務を否定し、公的責任を投げ捨てる「社会保障制度解体推進法」ではないか、市長の見解を問う</p> <p>2 「推進法」に市長はどう向きあい、市民の福祉を具体的にどう守っていくのか</p>	市長 関係課長
		2 子ども・子育て関連法(新システム)について	<p>1 新システムで保育はどうなるのか</p> <p>(1) 「要保育度認定」について</p> <p>(2) 「直接契約」について</p> <p>(3) 保育料はどうなるのか</p> <p>2 新システムについての市長の所見と、公立保育所の役割について</p> <p>3 保育料の軽減を</p>	
		3 生活保護について	<p>1 生活保護の給付水準の引き下げがねらわれているが、基準の引き下げは、生活保護利用者やそれ以外の人にどのような影響を与えるか</p> <p>生活保護の経済効果についての見解は</p> <p>2 扶養義務者の考え方と扶養義務者への対応について</p> <p>3 給付費の全額国庫負担を求めることについて</p>	

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
5	7番 川田 律子	1 社会保障の改悪から高齢者のくらしをどう守るか	1 年金2.5%引き下げで、高齢者のくらしはもちろん市内の経済にも大きな影響をもたらすのではと考えるが、高齢者の負担増となっている 2 介護保険料、利用料の減免制度が必要ではないのか	市長 関係課長
		2 雪害から住民の生活を守るには	1 県の雪対策総合交付金の活用について 2 今までの事業の拡充、新規事業など具体的な対策は	
6	11番 大山 正弘	1 観光行政について	1 観光環境の整った村山市の目指す観光誘致作戦について (1) 村山市のまちなみが一望できる現在の展望台から大展望を楯山に設置し観光スポットにするべきではないか (2) 湯沢方面から東沢公園に通行できる市道を拡大し安心安全な観光道路にすべきではないか (3) 観光動線いわゆる観光名所や街を人や物が移動するためのわかりやすいルート案内板を設置する考えはないか	市長 農業委員会 会長 関係課長
		2 農業振興について	1 人・農地プラン(地域農業マスタープラン)とは (1) 「人・農地プラン」に対する市内担い手農家の皆様の将来をどのようにすすめるべきか、更にTPPに対する新たな考え方 (2) 「人・農地プラン」策定会議内容についてお伺いいたします (3) 農業委員会にて「人・農地プラン」の討論をなされておられると思いますが、これからの農業委員会としての方針とは	